

2. 整備事業
I. 産地競争力の強化を目的とする取組用

(山形県 平成25年度)

市町村名	事業実施主体名 (対象作物・畜種等名)①	メニュー① 成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況①						メニュー② (対象作物・畜種等名)②	成果目標の具体的な実績①	成果目標の具体的な内容②	事業実施後の状況②						成果目標の具体的な実績②	特別枠加算の取組の具体的な実績	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力)	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考
			計画時(平成23年)	1年後(平成24年)	2年後(平成25年)	3年後(平成26年)	目標値(平成25年)	達成率				計画時(平成23年)	1年後(平成24年)	2年後(平成25年)	3年後(平成26年)	目標値(平成25年)	達成率					交付金	都道府県費	市町村費	その他				
			全出荷量に占める契約取引の割合が5.0%以上	出荷量420t うち契約取引量189t	出荷量605t うち契約取引量393t	出荷量698t うち契約取引量513t	出荷量642t うち契約取引量501t	78.0%				86.4%	全出荷量に占める契約取引の割合が28.5%増加	野菜(マッシュルーム)	全出荷量に占める加工向け又は外食・中食向けの契約取引の割合が5.0%以上	出荷量420t うちマッシュルーム加工向け又は外食・中食向け契約取引量168t	出荷量605t うちマッシュルーム加工向け又は外食・中食向け契約取引量335t					出荷量698t うちマッシュルーム加工向け又は外食・中食向け契約取引量333t	出荷量642t うちマッシュルーム加工向け又は外食・中食向け契約取引量418t	65.1%	30.7%				
舟形町	南舟形マッシュルーム	野菜(マッシュルーム)	全出荷量に占める契約取引の割合が5.0%以上	出荷量420t うち契約取引量189t	出荷量605t うち契約取引量393t	出荷量698t うち契約取引量513t	出荷量642t うち契約取引量501t	78.0%	86.4%	全出荷量に占める契約取引の割合が28.5%増加	野菜(マッシュルーム)	全出荷量に占める加工向け又は外食・中食向けの契約取引の割合が5.0%以上	出荷量420t うちマッシュルーム加工向け又は外食・中食向け契約取引量168t	出荷量605t うちマッシュルーム加工向け又は外食・中食向け契約取引量335t	出荷量698t うちマッシュルーム加工向け又は外食・中食向け契約取引量333t	出荷量642t うちマッシュルーム加工向け又は外食・中食向け契約取引量418t	65.1%	30.7%	全出荷量に占める加工向け又は外食・中食向けの契約取引の割合が7.7%増加	マッシュルーム栽培舎×12棟 栽培用備品1式 培地調整舎1棟 外構工事1式 コンポストラン台	245,019,835	116,676,000			128,343,835	平成25年2月12日	成果目標①については、出荷量及び契約取引量とも目標を達成し、取引先から量・質ともに好評を得たところである。また、契約外の取引(小口のレストランやホテルからの発注増と地方市場からの出荷要請や期間限定のスポット取引)が予想以上に多くなる等、出荷需要が増加し、全出荷量が計画以上に増加した。 成果目標②については、取引先(外食チェーン店)のメニュー変更による契約数量の減少のため、H24年からH25年にかけて微減したが、計画策定年度のH23年から目標年度のH25にかけてみれば増加した。一方で、上記のとおり全出荷量も計画以上に増加したことから、加工向け又は外食・中食向けの契約取引割合が減少した。 現在、契約取引へ繋げることを前提として、契約の定番化に向けて数社と商談を進める等、戦略的に取り組んでいる。また、加工向け又は外食・中食向けの契約量の増加を図るため、当社内に営業企画部を設置し、取引先に対してメニューの提案や使いやすさ・美味しさをアピールする等、積極的な販売活動を実施しており、今年、全国展開の飲食店やホテルグループ等と新たに契約を締結する予定であり、26年度は目標を達成する見込みである。	成果目標①については、出荷需要自体の増加が原因と考えられ、今後、事業実施主体において契約の定番化に向けて数社と商談を進める等、契約取引の増加に向けて取り組んでいることから、当該取組みが目標達成に向けて着実に実施されているかどうか適時状況を聞き取り、目標達成を意識した取組みとなるよう指導していく。 成果目標②については、舟形町・商社等とも連携しながら、さらなる契約取引量の拡大について適時に達成状況を把握し、目標達成に向けた取組みが前進するよう声がけを継続するなどして指導していく。	
東根市	株本福牧場	飼料(稲わら)	0%	0%	185%		134%	138.1%	飼料(稲わら)収集面積の増加割合が185%増加 実績(H25) 組織の飼料(稲わら)収集面積30ha 県平均16.2ha	組織の飼料(稲わら)収集面積の増加割合が185%増加 実績(H25) 組織の飼料(稲わら)収集面積30ha 県平均16.2ha	0%	0%	市平均労働時間比42.3% 削減率57.7%	市平均労働時間比61.5% 削減率38.5%	149.9%	飼料(稲わら)収集に係る労働時間の削減割合が57.7%削減 実績(H25) 組織の労働時間27.5分/10a 市平均労働時間65分/10a		飼料保管施設1棟(1,820㎡)	108,150,000	32,500,000			75,650,000	平成25年2月28日	施設整備に伴って稲わら収集に取組み、収集面積の拡大と効率的な労働時間従事を図った。 肉用牛生産に不可欠な稲わらを保管する施設として最適である。	収集面積の拡大と、収集に係る効率的な労働を目標以上に達成しており、飼料(稲わら)増産の観点からも、事業効果があつたと認められる。			
庄内町、鶴岡市、金山町	株大商金山牧場	豚肉	0円	0円	252百万円		1,100百万円	22.9%	平成25年3月完成、4月から操業を開始し、平成25年11月よりパック肉本格出荷、0〜252百万円の出荷額の増	豚肉	▼豚肉 ▼大商金山牧場及び出荷農家6戸の出荷頭数の畜産加工施設への割合	0%	0%	98%	100%	98.0%	平成25年4月より操業を開始し、大商金山牧場及び出荷農家6戸(25,124頭)の加工が開始され、その加工施設への出荷割合は98% (25124頭/25400頭)になった。		畜産物加工施設・建屋1棟・機械設備(カトライン式、パッカーライン式、金属探知機1台、X線異物検査機1台、計量・梱包ライン式)	647,938,200	205,694,000			442,244,200	平成25年3月5日	平成25年度は新しい作業環境に慣らしながら、11月からの本格稼働になった。このため、加工品の出荷額については目標を下回った。平成26年度はPED発生の影響で原料価格が高騰し販売環境が悪化したことにより目標に対して約60%の実績を想定しているが、27年度には販路拡大や市場ニーズに対応したパッケージング等により達成を見込む。	本格稼働が25年11月からだったこともあり、出荷額の目標は未達成であった。事業実施主体においては、積極的に新規販売先の開拓を行っており、今後は販売額の増加が見込まれることから目標達成は可能と判断する。引き続き、農場での衛生対策の徹底等による安定的な豚肉生産・出荷及び販路拡大等について指導していく。		

都道府県平均達成率	87.7%	総合所見	飼料増産の取組については、目標を達成している。 野菜(マッシュルーム)及び豚肉の取組については、本格稼働が遅れたこともあり目標に達していないが、さらなる契約取引の増加や販売先の拡大等に取り組んでおり、県としても継続的に指導する。
-----------	-------	------	---

- (注) 1 別紙様式1号の2の1に準じて作成すること。
2 要領第1の1の(2)のアの(ア)から(ウ)の場合にあつては、事業実施後の状況の欄を追加し、記入すること。
3 別添として、各事業実施主体が作成した事業実施状況報告書を添付すること。
4 「事業実施主体の評価」欄と、「都道府県の評価」欄については、評価の対象となる年度のみ、それぞれの所見を記入すること。
5 「総合所見」欄については、評価実施年度の取組について、都道府県全体の総合所見を記入すること。
6 「都道府県平均達成率」欄は、都道府県において事業実施地区で掲げている成果目標毎の達成率の平均値とする。